

愛媛 東予地方 都市環境デザイン ツアー

5月22日(日)

10:00 大宮橋 集合



大宮橋の位置

日本の近代化に寄与した別子銅山。
東予には、銅山の遺跡が数多く存在します。
このツアーでは銅山関連のものを中心に、
東予地方の近代化遺産を巡ります。

***参加費：無料 ※小雨決行**

河川の増水により中止する場合があります。

参加希望者は事前に重山にメールをお願いします。

***移動手段：自動車**

(駐車場が狭い場所もあります。

なるべく乗り合わせてお越し下さい)

***交通費等：各自**

(旧広瀬邸の入場料¥520 が別途必要です)

***昼食：各自持参**

当日スケジュール

10:00-11:00 ①大宮橋 集合



12:20-13:20 ②山根グランド観覧席



13:30-14:30 ③旧広瀬邸



14:50-15:20 ④遠登志橋



16:00-17:30 ⑤別子銅山 東平地区

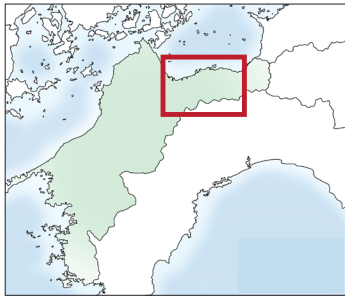


17:40-19:00 ⑥新居浜線路跡

主催：都市デザイン会議 四国ブロック お問い合わせ：高知工科大学 重山陽一郎 shigeyama.yoichiro@kochi-tech.ac.jp

共催：土木学会景観・デザイン委員会

東予地方地図



③旧広瀬邸

日本建築様式をもちながらも洋式トイレや板ガラス、暖炉など西洋の新しい文化を取り入れた近代和風住宅。



②山根グランド観覧席

延長 170m、最大 27 段の階段状の観覧席。鷺尾勘解治の指揮のもと、別子銅山社員の奉仕作業によって建設された。



⑥住友鉱山鉄道跡

かつて新居浜市において鉱石輸送や旅客輸送を行っていた鉱山鉄道。打除鉄橋など鉄道に関連する遺産は数多く存在する。



④遠登志橋

現存最古級の鉄製アーチ橋。現在は修復・保存のため、橋梁本体に荷重をかけぬよう吊り橋が橋上に架けられている。



①大宮橋

橋長 43.9m のコンクリート製の橋梁。ギリシャ建築を模しており、装飾にも細かな配慮がなされデザイン性に優れている。



⑤別子銅山 東平地区

別名「東洋のマチュピチュ」。鉱山本部が置かれていた東平地区には、貯鉱庫や変電所などの産業遺産が数多く残る。